

平成28年4月 データから見た業界の動き

■ 概 況

平成28年4月における山梨県内の全業種のD I 値（前年同月）で比較すると売上高12ポイント、収益状況14ポイント、景況感4ポイントと全ての項目で悪化している。

前月比で比較すると売上高4ポイント、景況感6ポイント改善しているが、収益状況は4ポイント悪化した。先月まで悪化傾向にあった製造業は改善傾向にあるが、消費者マインドの変化を身近で感じてきた非製造業が前月比の売上高13ポイント、収益状況20ポイント、景況感3ポイントと急激に悪化した。

悪化した要因としては、長期化する中国経済の減速や円高、株安、公共事業の減少、大手自動車メーカーによる燃費データ不正問題による受注減等が重なった。

さらに、ガソリン価格の上昇や原料高にともなう販売価格への転嫁難、人手不足による人件費の上昇など、企業のコスト負担は高まっている。

また、物価上昇により消費者マインドが低下しているところに起きた熊本地震の影響により消費者の不安心理が拡大したことも山梨県内の景気停滞の要因の一つになった。

今後は、消費税率10%への引き上げの行方や自動車メーカーの不正問題や熊本地震の影響により生産停止された自動車部品や電子部品など受注の改善が山梨県内の景気改善のカギを握るとと思われる。

■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

● 製 造 業

食料品（水産物加工）	ギフト関係は低調だが、ホテル・レストラン等向けの生食材が好調のため、全体の売上は前年同月比120%。
食料品（洋菓子製造）	自社製品は専門店向けは良かったが、量販店向けが低調の上、円高により輸出は落ち込んだ。全体の売上は91.6%と不振。
窯業・土石（山採石）	一昨年までは年末から年度末にかけて公共工事が集中し、需要が見込まれたが今年度は、前年を下まわる出荷状況である。
鉄鋼・金属①	全体的には横ばい。デバイス関連は、一部下降。
鉄鋼・金属②	昨年より業況は悪化。
一 般 機 器	半導体製造装置は横ばい状態が続いている状況。工作機械関係は順調に推移している。また、自動車部品関連は順調な可動状況だが、三菱自動車の燃費偽装問題により関連企業では大幅に生産が落ち込んでいる。

電気機器	変わらず中国経済の低迷による製造業の景気悪化が止まらない。
宝飾(研磨)	甲府ジュエリーフェアが開催され、若干売上が伸びた。
宝飾(貴金属)	低価格商品を製造する企業が少ないため、忙しくなっている。

● 非製造業

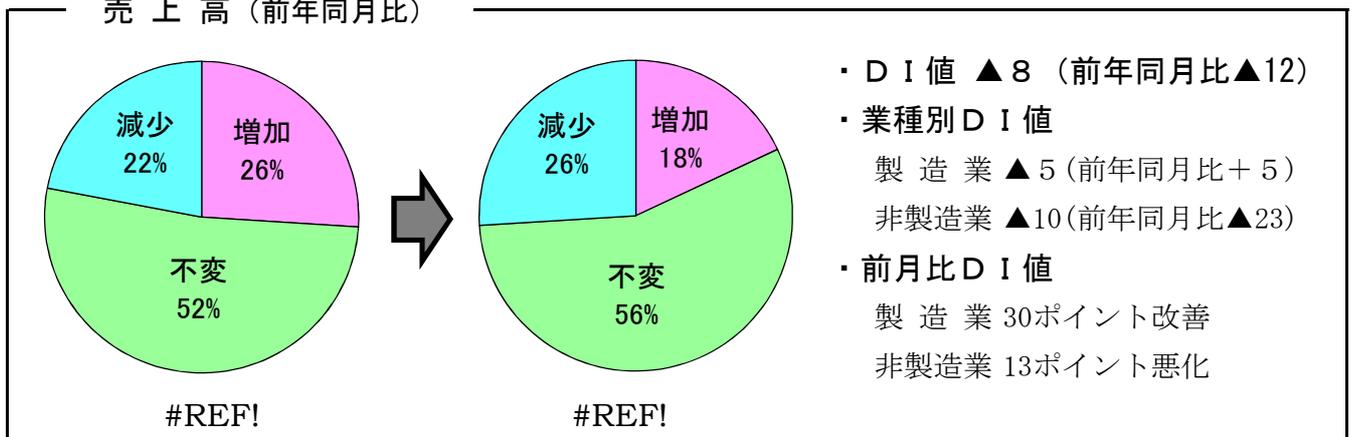
卸売(紙製品)	品薄による値上がり傾向。
卸売(ジュエリー)	国内における宝飾品の流通が停滞。消費マインドが上昇しない限り業況改善はない。また、中国を始めとする海外バイヤーの購買金額が落込み、商品も高級品から中・低額品に移行している。
小売(青果)	入荷量の減少から高値取引となっている。
小売(食肉)	国産牛肉の高騰が昨年から続き、高級部位等は売れなくなっている。仕入価格の上昇分を値上げできず利益確保が困難。
小売(水産物)	組合員の高齢化や後継者不足等により廃業が増えている。
小売(電機製品)	量販店は依然好調だが、地域小売店は前年を下回った。特に、太陽光発電の受注が半減した。
小売(石油)	原油価格の上昇に伴い卸売価格も値上がりしているが、販売価格に値上がり分を転嫁できず利益を圧迫している。
美容業	既存の美容室における固定客の高齢化や客単価の低下、低料金店舗の出店も相次いでいるため組合員企業の経営は厳しい状況が続いている。
警備業	警備業務量も少なく料金の見直しなどにより売上は減少したが、収益面では長期的な公共事業が多いことから影響は少なかった。
建設業(総合)	4月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ件数で9%、請負金額で35%増加。
建設業(型枠)	リーマンショックを上回る不況が続いている。従業員や一時雇用等に対する社会保険料、仕事量の減少に伴う請負単価の低下、新興国による材料買い占めに伴う材料費の高騰等により経営が悪化している。
建設業(鉄構)	県外物件の依存度が高く、県内の景気低迷の影響もあり稼働率が低下している。
設備工事(電気工事)	例年に比べかなり工事量が少ない。
設備工事(管設備)	経営者の高齢化が進み、後継者がいないため廃業する組合員が出てきている。
運輸(タクシー)	売上は、昨年同月比8%減少。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

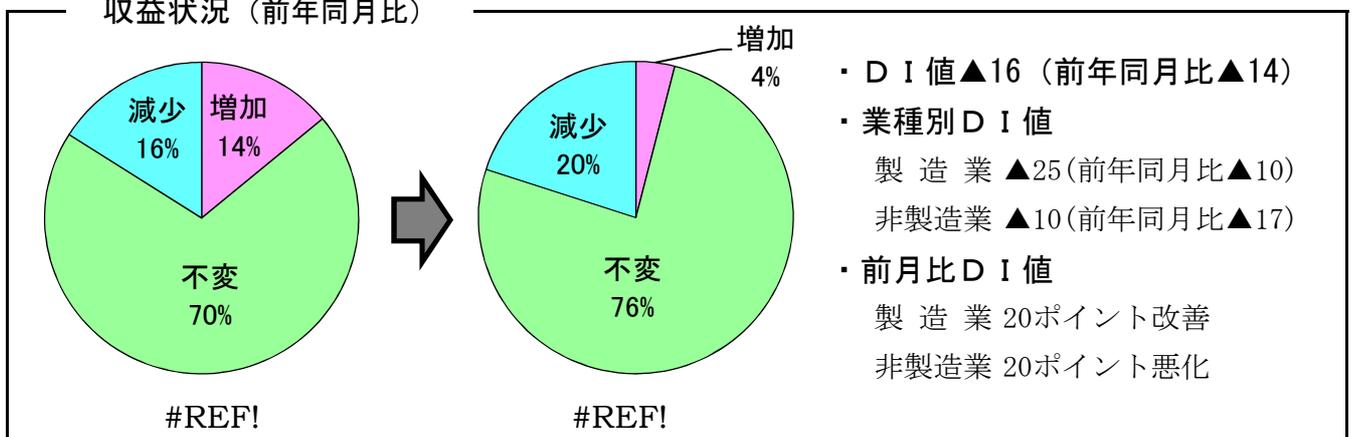
対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2015/4	2016/3	2016/4	2015/4	2016/3	2016/4	2015/4	2016/3	2016/4
売上高	-10	-35	-5	13	3	-10	4	-12	-8
収益状況	-15	-45	-25	7	10	-10	-2	-12	-16
景況感	-20	-40	-20	-7	-10	-13	-12	-22	-16

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

売上高（前年同月比）



収益状況（前年同月比）



景況感（前年同月比）

